

# 大阪府電子調達システム クライアント環境設定マニュアル

令和5年1月

## 目次

1. 電子入札システムの事前の準備の流れ	2
2. パソコン・インターネット環境の準備	3
3. 信頼済みサイトの登録	5
Microsoft Edge (Chromium版) の場合	
4a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順	10
5a. キャッシュクリア方法	14
6a. ポップアップの許可設定	16
7a. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法	19
Google Chromeの場合	
4b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順	20
5b. キャッシュクリア方法	24
6b. ポップアップの許可設定	26
7b. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法	30
8. 注意事項	32
9. 大阪府電子調達システム・お問い合わせ先	33

# 1. 電子調達システム事前準備の流れ

大阪府電子調達システムをご利用頂くには、下図の手順に従って事前準備が必要です。

ご使用になるパソコンで、国土交通省など「電子入札コアシステム」を採用した他の発注機関の電子入札システムを既に利用していますか。

はい

いいえ

まずは3～4ページを参照し、ご使用のパソコン、インターネット環境が利用可能環境に合致しているかどうかの確認をお願いいたします。  
そのうえで、ICカード、カードリーダーをご購入ください。  
([ICカード、カードリーダーにつきましては認証局へお問い合わせください](#))

3. 信頼済みサイトの登録  
(5～9ページ)

利用するブラウザをどちらか選択してください。(Internet Explorerは利用できません。)

Microsoft Edge  
(Chromium版)  
を使う

Google Chrome  
を使う

迷ったら、Edge

4a. 既定ブラウザを Edge に  
変更する手順  
(10～13ページ)

5a. キャッシュクリア方法  
(14～15ページ)

6a. ポップアップの許可設定  
(16～18ページ)

7a. 「ダウンロード時の動作を毎回  
確認する」を有効にする方法  
(19ページ)

4b. 既定ブラウザを Chrome に  
変更する手順  
(20～23ページ)

5b. キャッシュクリア方法  
(24～25ページ)

6b. ポップアップの許可設定  
(26～29ページ)

7b. 「ダウンロード時の動作を毎回  
確認する」を有効にする方法  
(30～31ページ)

8. 注意事項  
(本書の32ページを参照ください)

電子申請システムより、電子申請を行ってください。  
操作方法は、「大阪府 電子調達システム 電子申請マニュアル」をご参照ください。

## 2.パソコン・インターネット環境の準備

大阪府電子調達システムは、JACIC（財団法人日本建設情報総合センター）の「電子入札コアシステム」を採用しています。

JACIC（財団法人日本建設情報総合センター）CALIS/EC部（電子入札コアシステム・電子入札について）  
→ <http://www.cals.jacic.or.jp/>

大阪府電子調達システムをご利用になるにあたって必要なパソコンの環境は、以下の表をご参照ください。

### ●電子入札システムに必要なパソコン環境等

パソコン	OSがサポートしているPC/AT互換機（DOS/V）
CPU	<p>以下の機器仕様で動作確認済みです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC/AT互換機（DOS/V機）であること</li> <li>・CPU Core Duo 1.6GHz 同等以上</li> <li>・メモリ 1.0GB以上</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードディスク容量 空き容量が1ドライブに1.0GB以上</li> <li>・CD-ROMドライブがついていること</li> <li>・シリアルポート又はUSBポートの空きがあること</li> <li>・1024×768ドット（XGA）以上</li> </ul>
対応OS	<p>Windows11、Windows10</p> <p>※ JIS2004は利用できませんのでご注意ください。</p>

パソコンのOS		ブラウザ
Windowsのみ		Microsoft Edge (Chromium版) もしくは Google Chrome
▼対応しているバージョン		▼対応しているバージョン
Windows 10（32ビット/64ビット）	Home Pro	Microsoft Edge (Chromium版) もしくは Google Chrome
Windows 11（64ビット）	Home Pro	Microsoft Edge (Chromium版) もしくは Google Chrome
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご契約の民間認証局のICカードリーダーのソフトウェア条件も合わせてご確認ください。</li> <li>・Windows ログインのユーザ名は、1バイト文字（半角英数字）に限ります。</li> <li>・令和4年6月6日以降、Windows10 に搭載されているInternet Explorerには対応しておりませんので、Microsoft Edge（Chromium版）もしくはGoogle Chromeをご利用ください。</li> </ul>		

## 2.パソコン・インターネット環境の準備

### ●ソフトウェア環境等

回線速度	64Kbps 以上を推奨
通信プロトコル (通信規約)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. HTTP</li><li>2. HTTPS</li><li>3. LDAP</li><li>4. SMTP</li></ol> <p>上記4点の通信プロトコルが全て使用可能なこと。 インターネットを利用する場合には、プロバイダ（ISP）との契約が必要となります。 電子入札コアシステムで使用する、以下の通信プロトコルが通過可能なプロバイダをお選びください。 また社内LAN等でファイアウォールを使用されている場合にも、以下の通信プロトコルが通過可能なように設定してください。 詳細はご利用のプロバイダやネットワーク管理者にご確認ください。 光回線などの常時接続サービスを推奨します。</p>
電子メール	<p>送受信が可能なこと。</p> <p>※ 各種通知書（指名、落札通知など）の発行のお知らせは電子メールで行いますので、定期的にメールのチェックを行ってください。</p> <p>※通知書はシステム内で必ずご確認ください</p>
その他	<p>プロキシ及びプロキシサーバ経由での接続は動作保障いたしません。</p> <p>詳細はネットワーク管理者にお問合せください。</p>

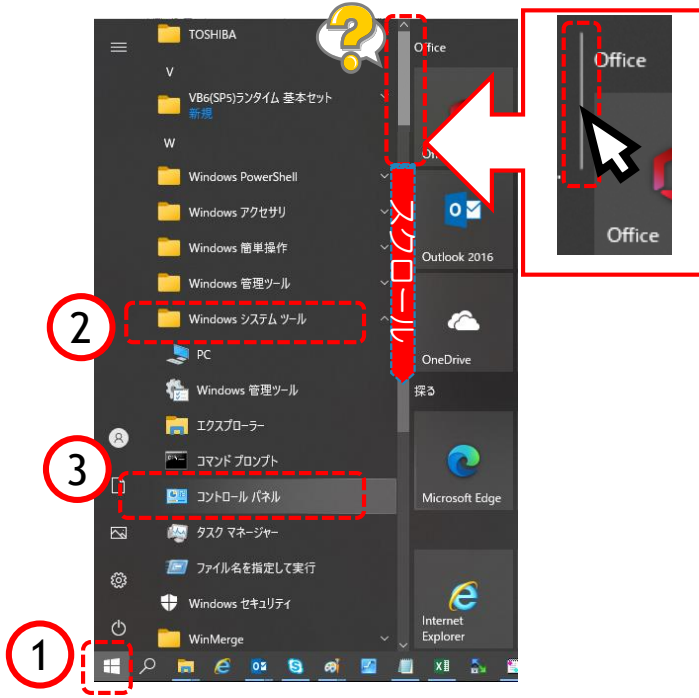
### ●その他の環境等

プリンタ	A4用紙がプリントできるプリンターが必要です。
ウィルスチェック	ウィルスチェックソフト
電子入札コアシステム 関連ソフト	「電子入札コアシステム関連ソフト」は、ICカードを電子入札システムで利用するために必要なソフトウェアで、コアシステム対応民間認証局より提供されます。通常、ICカード取得、またはICカードリーダー/ライター購入時に添付されます。

### 3.信頼済みサイトの登録

大阪府電子調達システム使用時に、ポップアップブロック、ファイルのダウンロードがブロックされると、システムが正常に動作しないことがあります。  
インターネットオプションより、「信頼済みサイト」に電子入札システム、電子申請システムのサーバアドレス情報が登録されていることを確認します。

#### <Windows10の場合>



#### 手順1

以下の手順で、

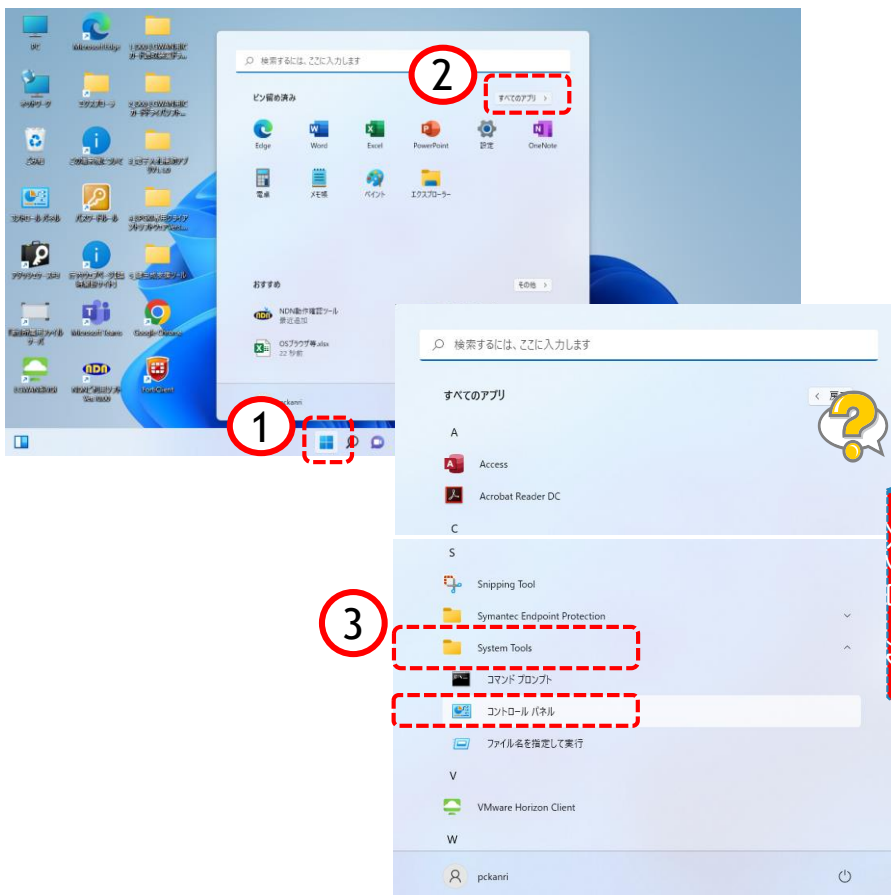
- ①「スタート」をクリックします。
- ②「Windowsシステムツール」ボタンをクリックします。
- ③「コントロールパネル」をクリックします。



下に移動する場合は、細いスクロールバーに

マウスを当てることで、スクロールバーが太く表示されず、スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。

#### <Windows11の場合>



#### 手順1

以下の手順で、

- ①デスクトップ上の「スタート」をクリックします。
- ②「すべてのアプリ」をクリックします。
- ③「System Tools」をクリックします。  
「コントロールパネル」をクリックします。



下に移動する場合は、細いスクロールバーに

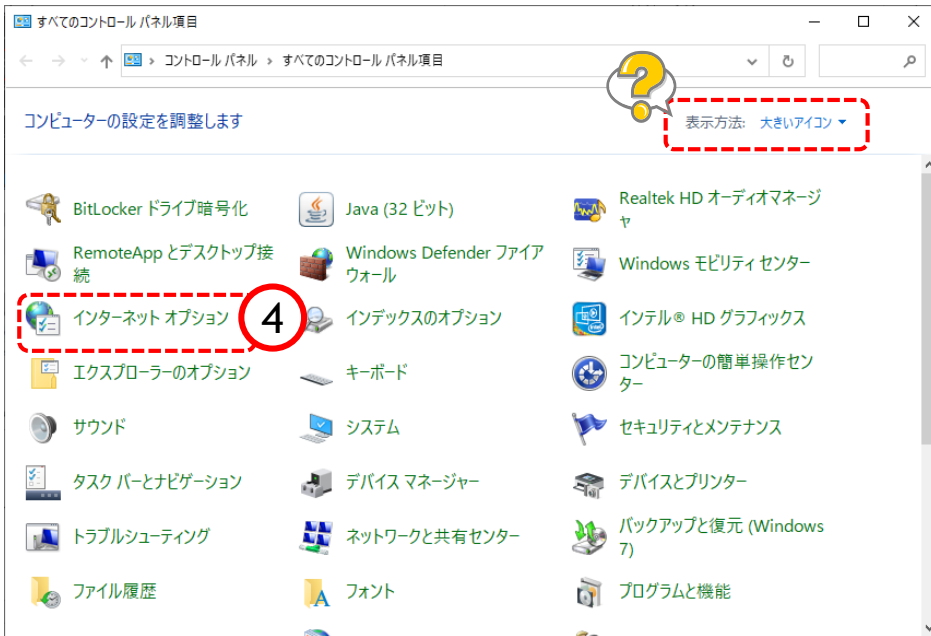
マウスを当てることで、スクロールバーが太く表示されず、スクロールバーをクリックした状態で下に移動させてください。

### 3.信頼済みサイトの登録

#### 手順2

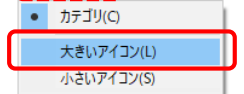
すべてのコントロールパネル項目画面が表示されます。

④「インターネットオプション」をクリックします。



コントロールパネルの表示が左の画面と違う場合は、

表示方法: カテゴリ▼



表示方法「カテゴリ▼」をクリックして、「大きいアイコン」を選択してください。

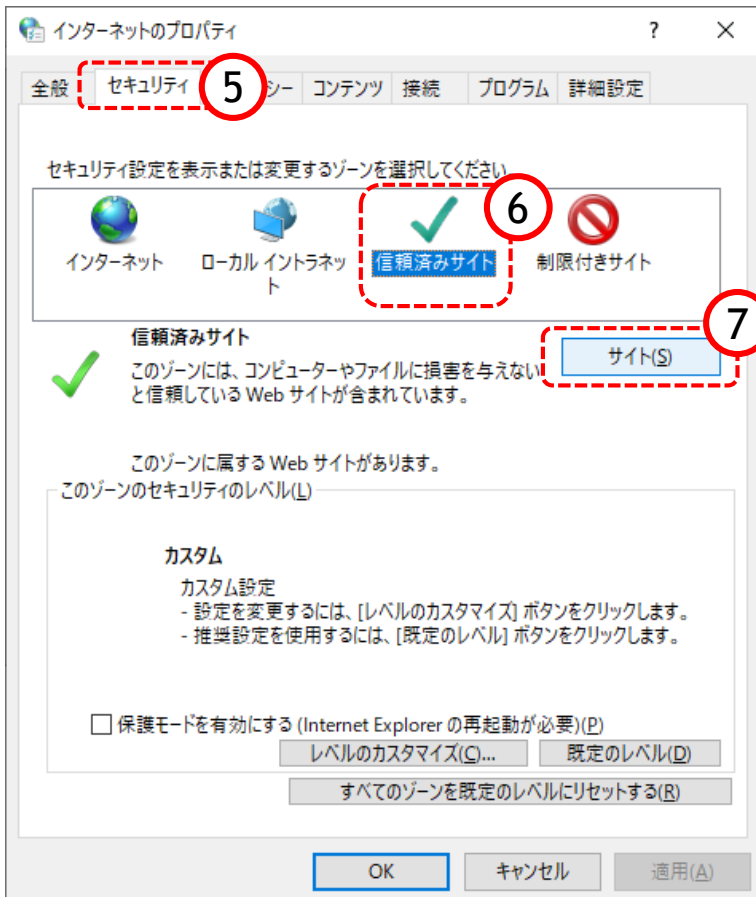
#### 手順3

インターネットのプロパティ画面が表示されます。

⑤「セキュリティ」をクリックします。

⑥「信頼済みサイト」をクリックします。

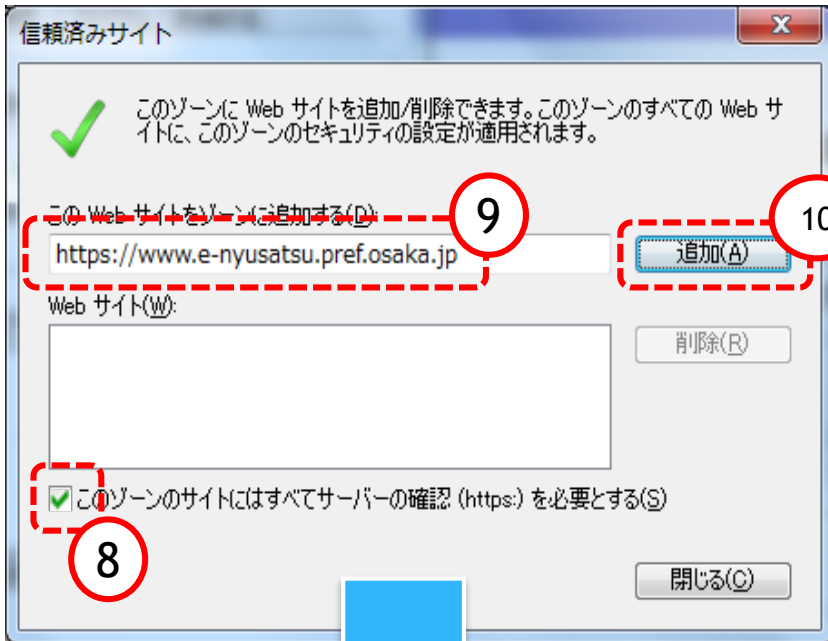
⑦「サイト」をクリックします。



### 3.信頼済みサイトの登録

登録していただくアドレス

https://eawww.e-nyusatsu.pref.osaka.jp  
https://www.e-nyusatsu.pref.osaka.jp



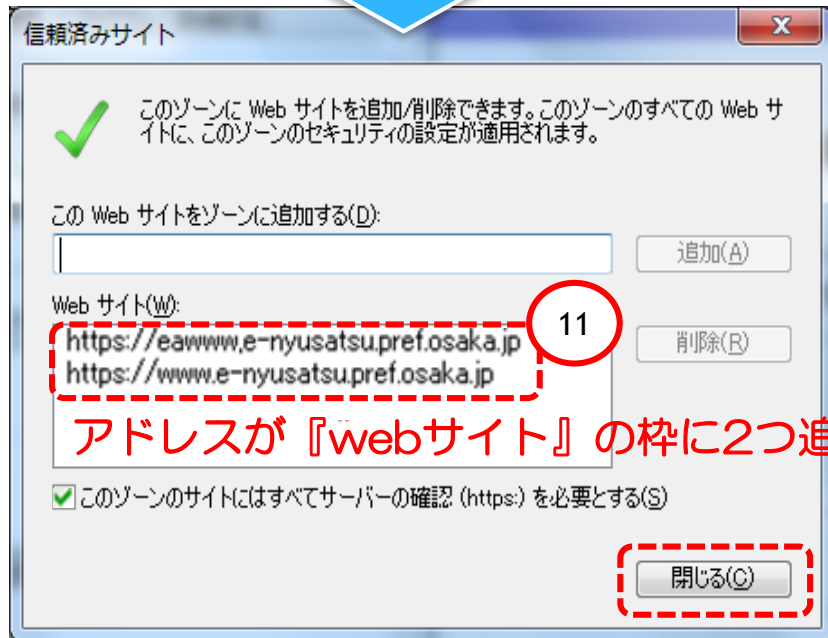
#### 手順4

⑧「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする」にチェックを入れる

⑨上記2つのアドレスを信頼済みサイトとして追加する

『このWebサイトをゾーンに追加する』のテキスト欄にアドレスを1つ入力します。  
★アドレスが予め表示されている場合、httpsのsがない、e-が抜けていることが多いため、間違いないようご確認をお願いします。

⑩「追加」ボタンをクリック



#### 手順5

⑪『Webサイト』の大きな枠にアドレスが入ったことを確認

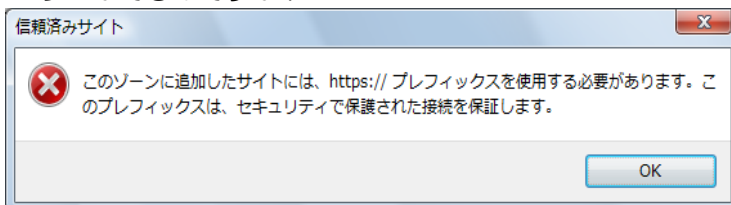
⑨、⑩の操作を2回行い、アドレスを2つ追加してください。

『Webサイト』の枠にアドレスが2つとも表示されると、信頼済みサイトの登録は完了です。最後に「閉じる」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

アドレスが『webサイト』の枠に2つ追加されれば完了です！



エラーがでるのですが？



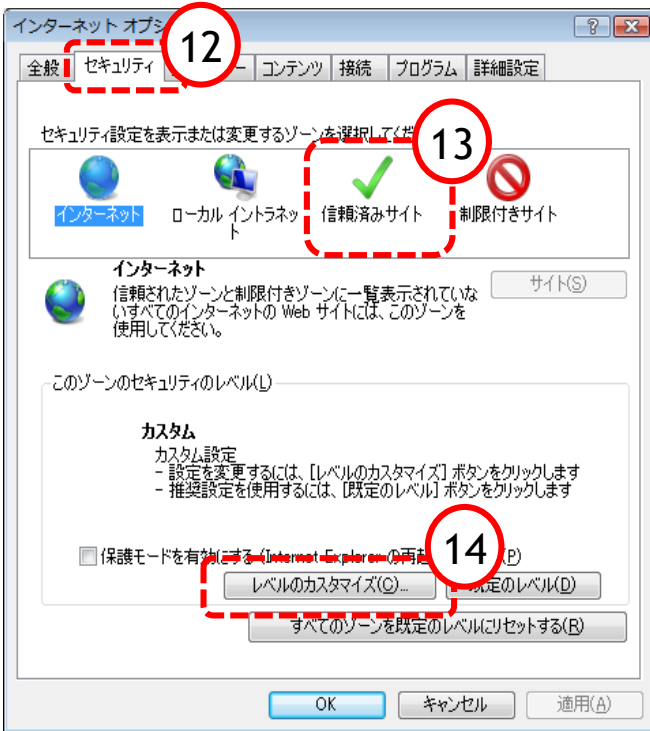
↑ 上記のようなエラー画面が出たときは、入力されているアドレスに間違いがないかもう一度確認してください。httpsのsが抜けていたり、スペースが入っていたりするとエラーになる場合があります。

### 3.信頼済みサイトの登録

#### 手順6

インターネットオプション画面に戻りますので、次に「信頼済みサイト」に対する詳細な設定を行います。

- ⑫ 「セキュリティ」タブをクリック
- ⑬ 「信頼済みサイト」アイコンをクリック
- ⑭ 「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリック

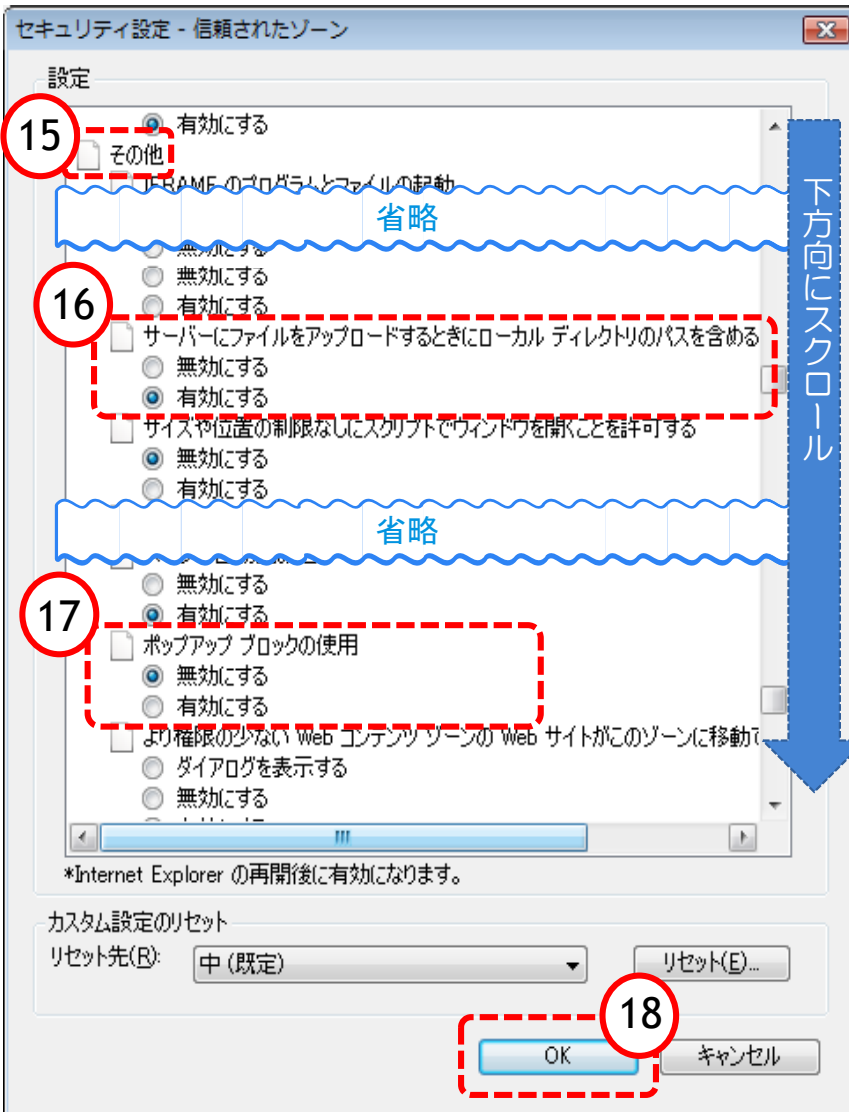


#### 手順7

⑮ 下方向にスクロールさせ『その他』という項目を表示させる

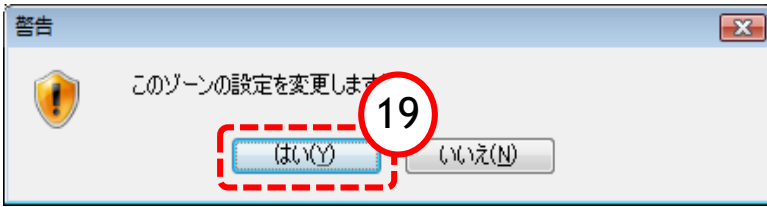
『その他』の中の2項目を設定します。

- ⑯ サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める → 「有効にする」に設定
- ⑰ ポップアップブロックの使用 → 「無効にする」に設定
- ⑱ 「OK」ボタンをクリック





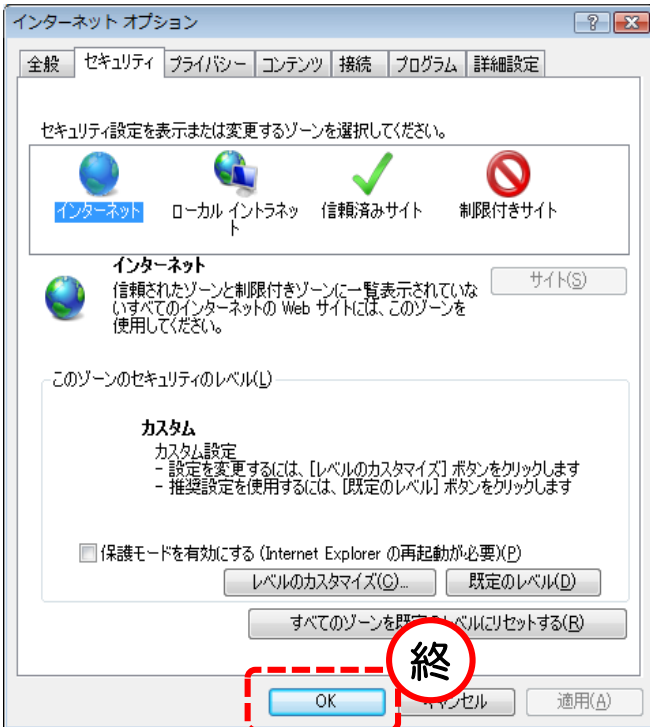
### 3.信頼済みサイトの登録



⑱警告画面が出る場合「はい」を選択

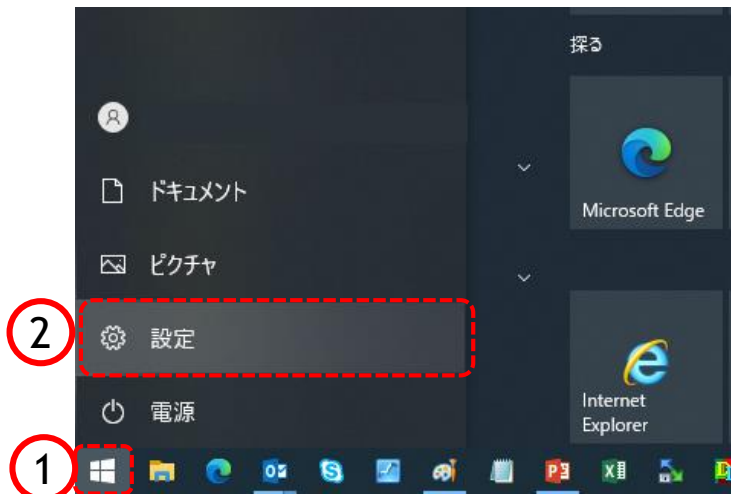
最後にインターネットオプションの画面を「OK」で閉じます。

以上で信頼済みサイトの登録は終了です。



## 4a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順

<Windows10の場合>



### 手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ① 「スタート」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。

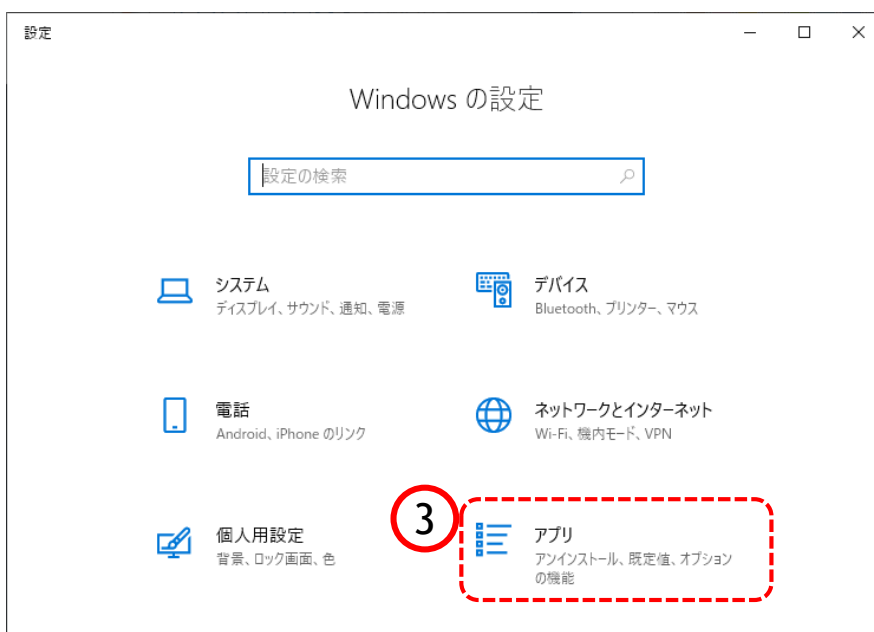
<Windows11の場合>



### 手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ① 「スタート」 ボタンを**右クリ**ックします。
- ② 「設定」 をクリックします。

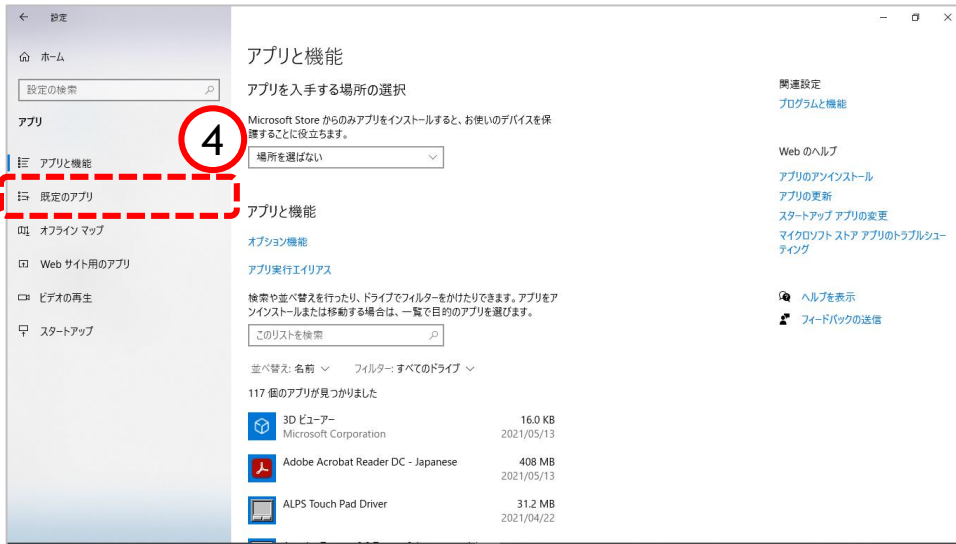


### 手順2

Windowsの設定画面が開きます。

- ③ 「アプリ」 をクリックします。

# 4a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順



手順3

アプリと機能画面が表示されます。

④「既定のアプリ」をクリックします。

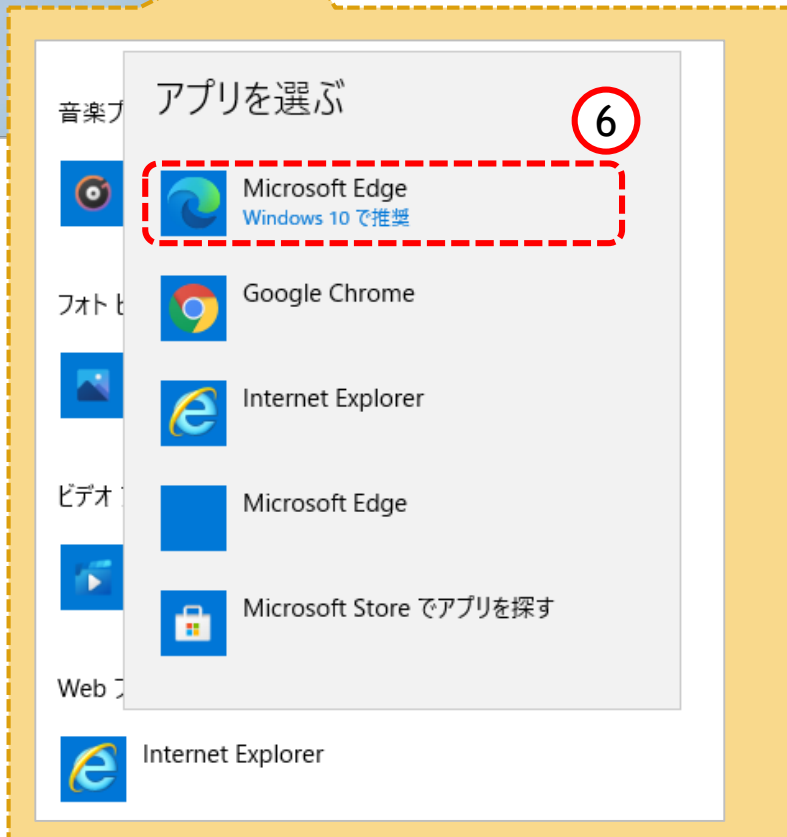


手順4

既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザの現在設定しているアプリを選択します。

左記画面のように「Internet Explorer」をクリックします。



手順5

アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥「Microsoft Edge」をクリックします。

## 4a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順



既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザが、「Microsoft Edge」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で既定ブラウザをEdgeに変更する手順は終了です。

# 4a. 既定ブラウザを Edge に変更する手順

## (参考) Microsoft Edgeの起動方法

「Microsoft Edge」を起動します。



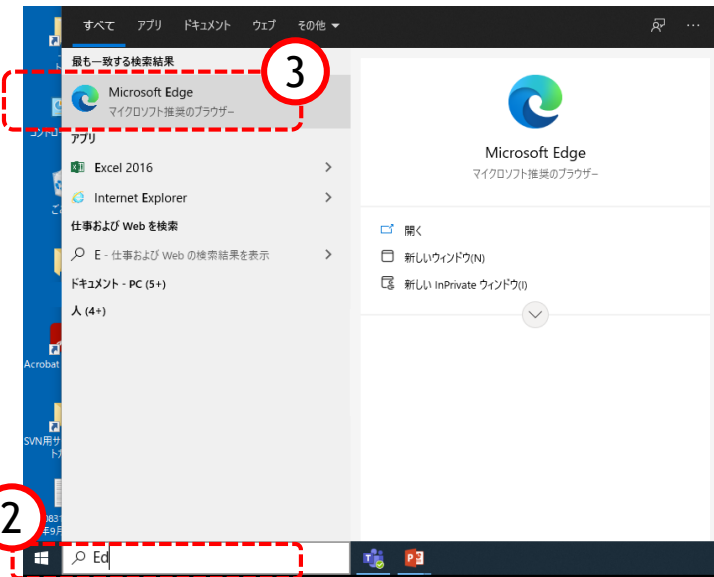
タスクバーの「Microsoft Edge」を選択します。

## タスクバーにMicrosoft Edgeが無い場合



手順1

①「検索」欄を選択します。



手順2

②「検索」欄に「Ed」と入力します。

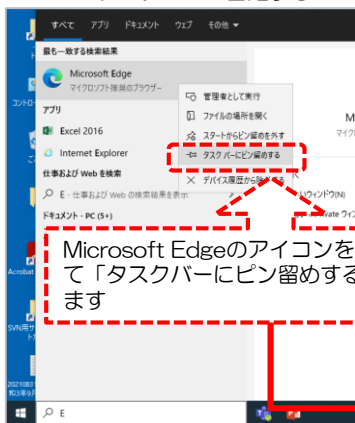
③検索結果にMicrosoft Edgeが表示されます。「Microsoft Edge」をクリックします。

Microsoft Edgeを表示したい度に検索しないといけませんか？

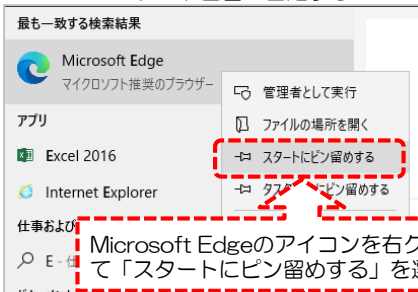
タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

<タスクバーに固定する>

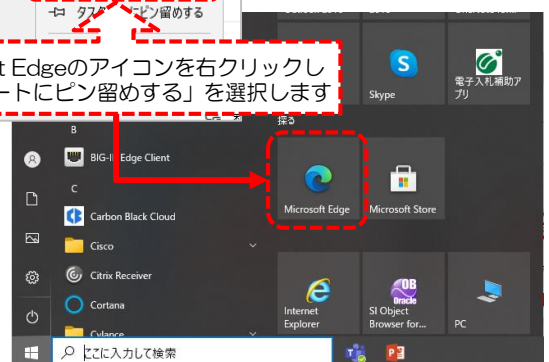
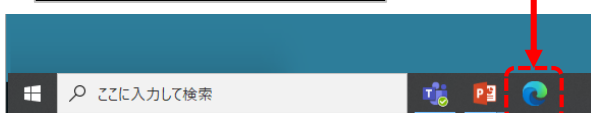
<スタート画面に固定する>



Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択します

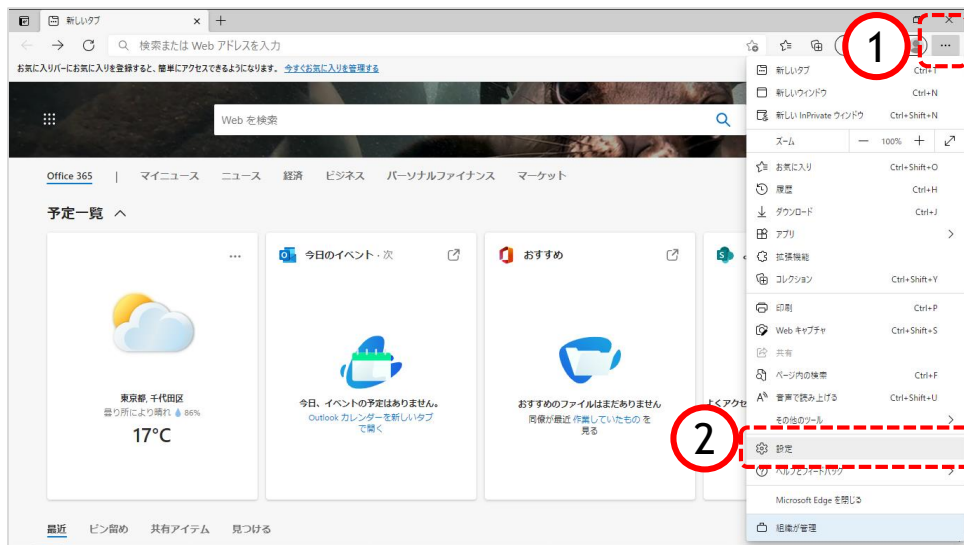


Microsoft Edgeのアイコンを右クリックして「スタートにピン留めする」を選択します



# 5a. キャッシュクリア方法

ブラウザを「Microsoft Edge」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。設定の手順は以下の通りです。



**手順1**

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。



**手順2**

設定のプロファイル画面が表示されます。

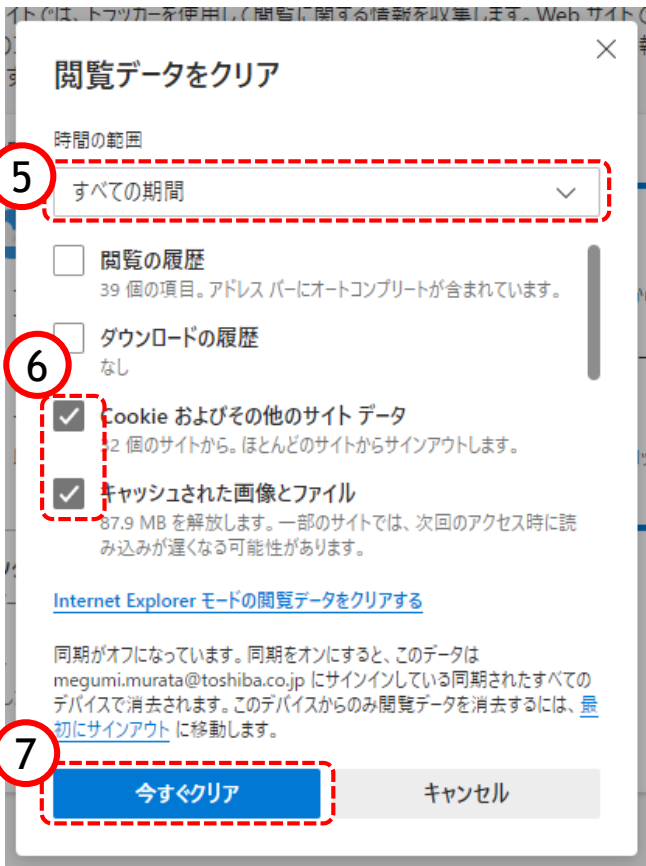
- ③ 「プライバシー、検索、サービス」 をクリックします。

# 5a. キャッシュクリア方法



プライバシー、検索、サービス画面が表示されます。

④『閲覧データのクリア』欄の「クリアするデータの選択」ボタンをクリックします。



閲覧データをクリア画面が表示されます。

⑤『時間の範囲』項目の「すべての期間」を選択します。

⑥「Cookieおよびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスにチェックをします。

⑦「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

データクリアが完了すると、プライバシー、検索、サービス画面に戻るため、右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。

# 6a. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

**[\*.]pref.osaka.jp**

- 「[」は左角カッコ  
(「む」の上のキーから入力可能)
- 「\*」はアスタリスク  
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)
- 「.」はピリオド  
(「る」のキーから入力可能)
- 「]」は右角カッコ  
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。

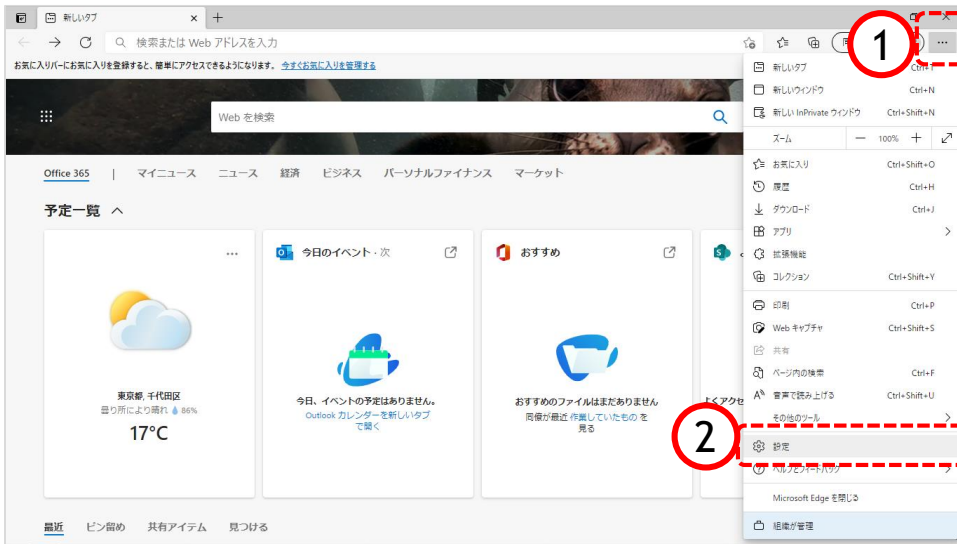


半角、全角切り替えキー

キーボードのキー配列図 (一部抜粋)



- [ : 左角カッコ
- \* : アスタリスク
- . : ピリオド
- ] : 右角カッコ



手順1

以下の手順で、Microsoft Edge画面から設定画面開きます。

- ① 「…」 ボタンをクリックします。
- ② 「設定」 をクリックします。



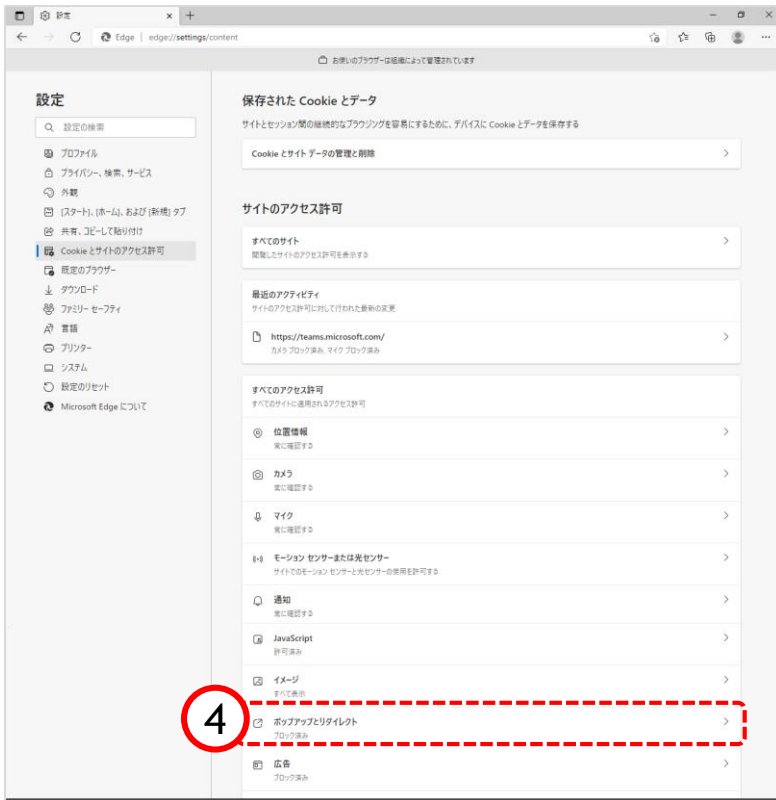
手順2

設定のプロファイル画面が表示されます。

- ③ 「Cookieとサイトのアクセス許可」 をクリックします。



# 6a. ポップアップの許可設定



Cookieとサイトのアクセス許可画面が表示されます。

④「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



ポップアップとリダイレクト画面が表示されます。

⑤『許可』欄の「追加」ボタンをクリックします。



サイトの追加画面が表示されます。

⑥『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

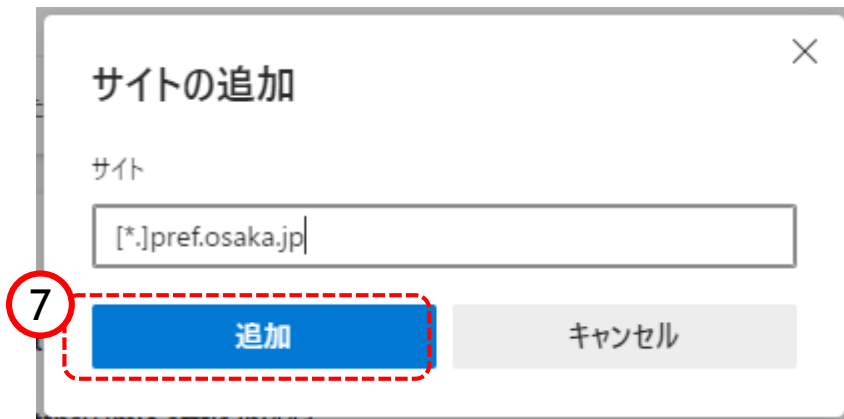
入力するアドレスは、  
[\*].pref.osaka.jp  
です。

## 6a. ポップアップの許可設定



手順6

⑦ 「追加」 ボタンをクリックします。



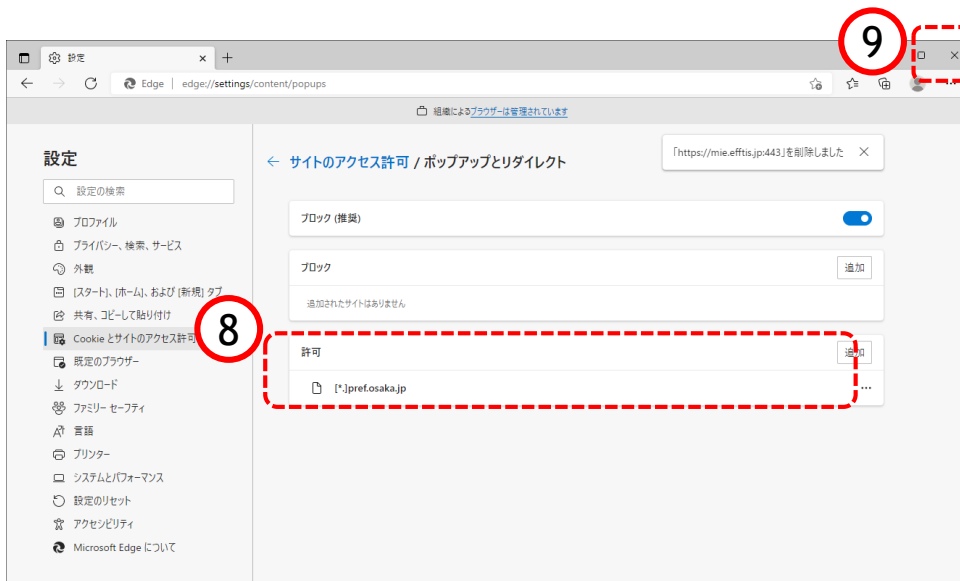
手順7

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

⑧ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

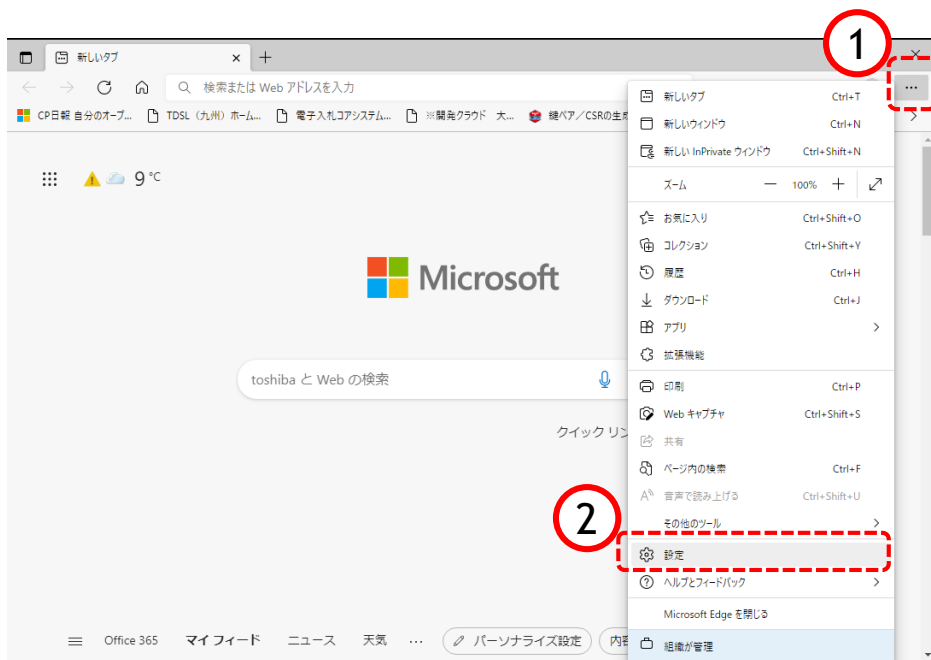
⑨ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。



# 7a. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

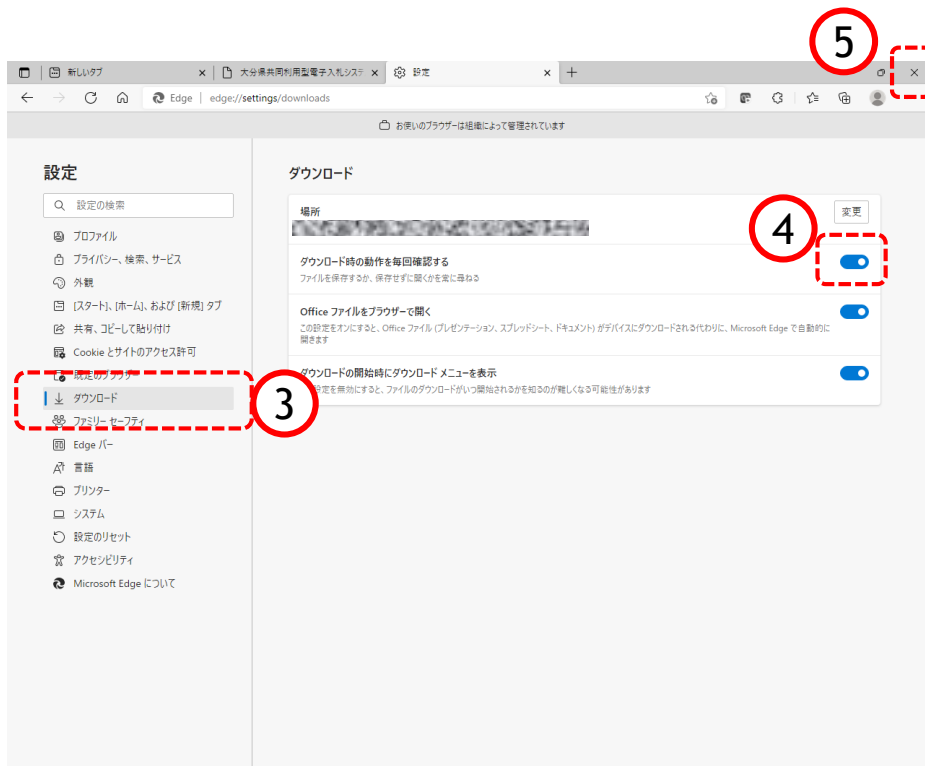
以下の設定をすることによって、Edgeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」するか選択できるようになります。



  
手順1

以下の手順で、


- ① 「・・・」をクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



  
手順2

設定画面が表示されます。

③ 設定画面の左側に表示されているメニューから「↓ダウンロード」をクリックします。

④ 画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効  にします。

⑤ 右上「×」ボタンをクリックし、Edgeの設定画面を閉じます。

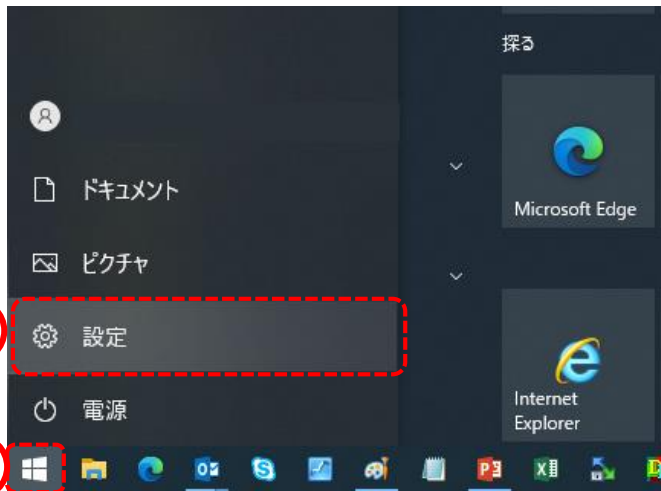
以上で、ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法は終了です。

Microsoft Edge (Chromium版) を使用する方の設定は以上で終了です。  
続けて「8. 注意事項 (32~35ページ)」をご確認ください。

## 4b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順

本書では、Chromeがご使用の端末にインストール済みの手順を記載しています。  
Chromeインストール方法が判らない場合は、Edgeのご利用をお願い致します。

<Windows10の場合>



### 手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ①「スタート」ボタンをクリックします。
- ②「設定」をクリックします。

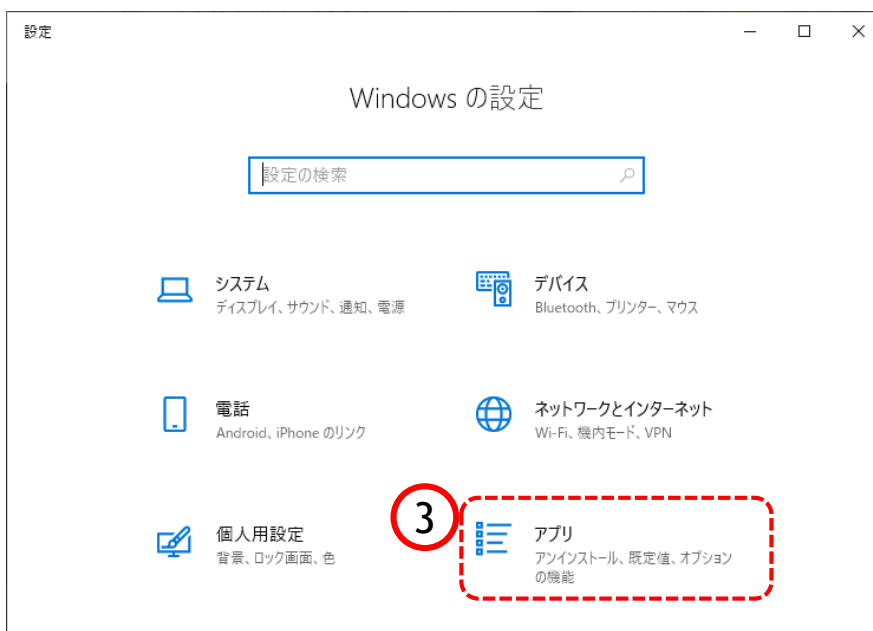
<Windows11の場合>



### 手順1

以下の手順で、既定のアプリ画面を表示します。

- ①「スタート」ボタンを**右クリック**します。
- ②「設定」をクリックします。



### 手順2

Windowsの設定画面が開きます。

- ③「アプリ」をクリックします。

## 4b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順



### 手順3

アプリと機能画面が表示されます。

④「既定のアプリ」をクリックします。

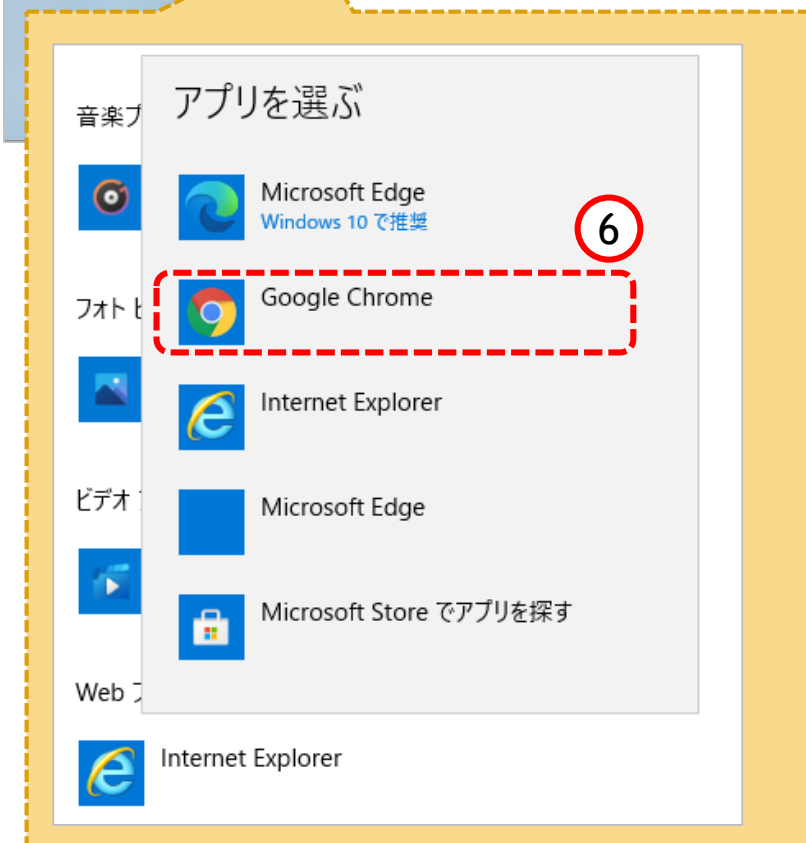


### 手順4

既定のアプリ画面が表示されます。

⑤ Webブラウザの現在設定しているアプリを選択します。

左記画面のように「Internet Explorer」をクリックします。



### 手順5

アプリを選ぶ画面が表示されます。

⑥「Google Chrome」をクリックします。

## 4b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順

### 切り替え前に

Microsoft Edge をお試しください。Windows 10 のために生まれた、まったく新しい高速なアプリです。

ご確認ください

強制的に変更する



「切り替え前に」という画面が表示される場合は、「強制的に変更する」を押下してください。

既定のアプリ画面に戻ります。

⑦ Webブラウザが、「Google Chrome」に変更されていることを確認します。

⑧ 右上「×」ボタンをクリックし、Windowsの設定画面を閉じます。

以上で既定ブラウザをChromeに変更する手順は終了です。

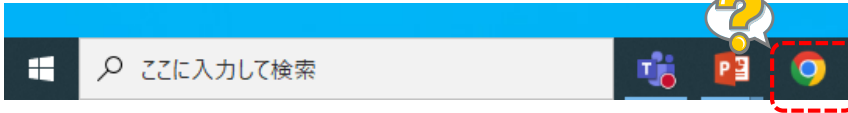


## 4b. 既定ブラウザを Chrome に変更する手順

### (参考) Google Chromeの起動方法

「Google Chrome」を起動します。

タスクバーの「 Google Chrome」を選択します。

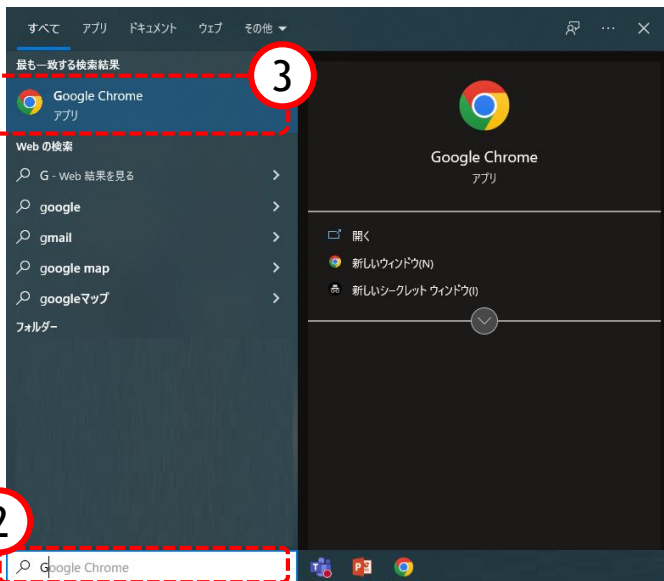


### タスクバーにGoogle Chromeが無い場合



手順1

①「検索」欄を選択します。



手順2

②「検索」欄に「G」と入力します。

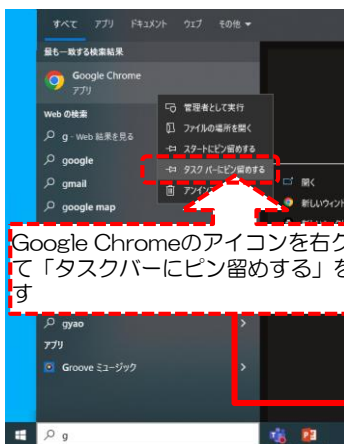
③検索結果にGoogle Chromeが表示されます。  
「Google Chrome」をクリックします。



Google Chromeを表示したい度に検索しないといけませんか？

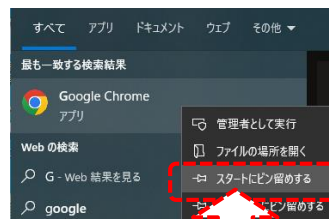
タスクバーまたはスタート画面に固定することができます。

<タスクバーに固定する>

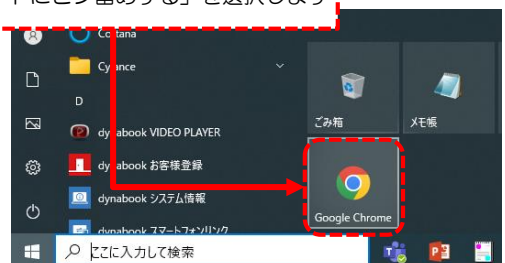


Google Chromeのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択します

<スタート画面に固定する>



Google Chromeのアイコンを右クリックして「スタートにピン留めする」を選択します



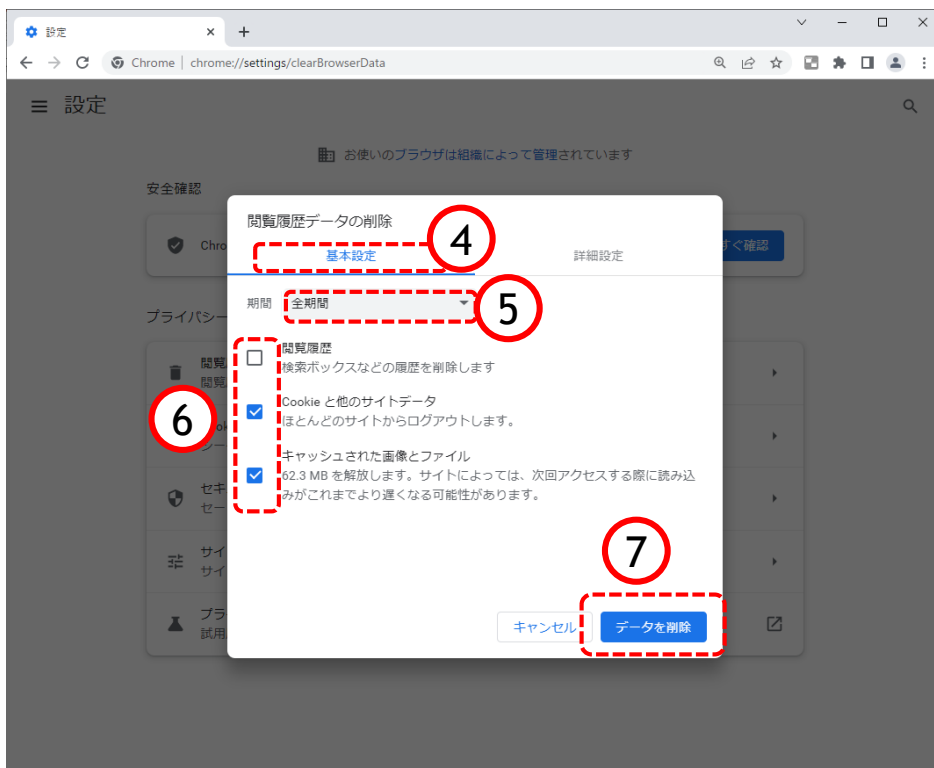
## 5b. キャッシュクリア方法

ブラウザを「Google Chrome」に変更した後、キャッシュのクリアを行います。設定の手順は以下の通りです。



以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

- ① 三ツ点ボタンをクリックします。
- ② 「その他のツール」をクリックします。
- ③ 「閲覧履歴の消去」をクリックします。



設定のプロファイル画面が表示されます。

- ④ 「基本設定」をクリックします。
- ⑤ 『期間』項目の「全期間」を選択します。

⑥ 「閲覧履歴」のチェックボックスにチェックが入っている場合、外します。

「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェックします。

⑦ 「データを削除」ボタンをクリックします



## 5b. キャッシュクリア方法



データクリアが完了すると、設定画面に戻るので、右上「×」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でキャッシュクリアは終了です。

## 6b. ポップアップの許可設定

ポップアップブロックが有効になっていると、システムが正常に動作しない場合があります。  
ここではポップアップを許可するためのアドレス登録方法を説明します。  
ポップアップを許可するためには以下のアドレスを登録します。

**[\*.]pref.osaka.jp**

「[」は左角カッコ  
(「む」の上のキーから入力可能)  
「\*」はアスタリスク  
(Shiftキー+「け」の同時押しで入力可能)  
「.」はピリオド  
(「る」のキーから入力可能)  
「]」は右角カッコ  
(「む」のキーから入力可能)

※上記の文字はいずれも半角で入力してください。



半角、全角切り替えキー

キーボードのキー配列図 (一部抜粋)

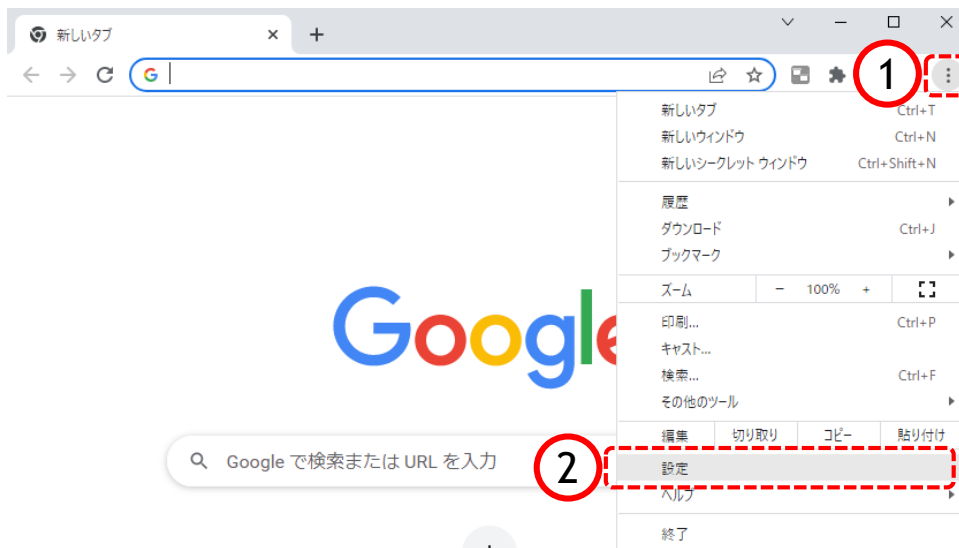


[ : 左角カッコ

\* : アスタリスク

. : ピリオド

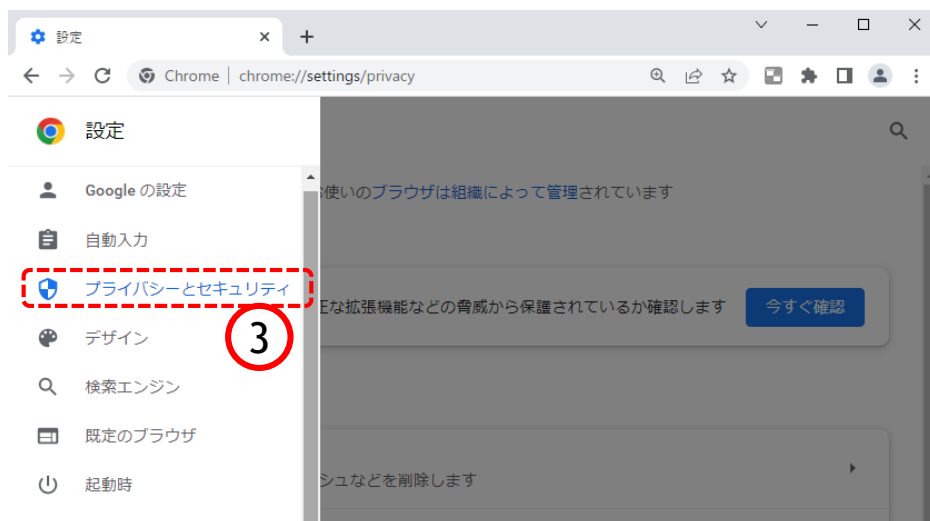
] : 右角カッコ



### 手順1

以下の手順で、  
Google Chrome画面から設定  
画面開きます。

- ① [三] ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。



### 手順2

設定のプロファイル画面が表示され  
ます。

- ③ 「プライバシーとセキュリティ」  
をクリックします。

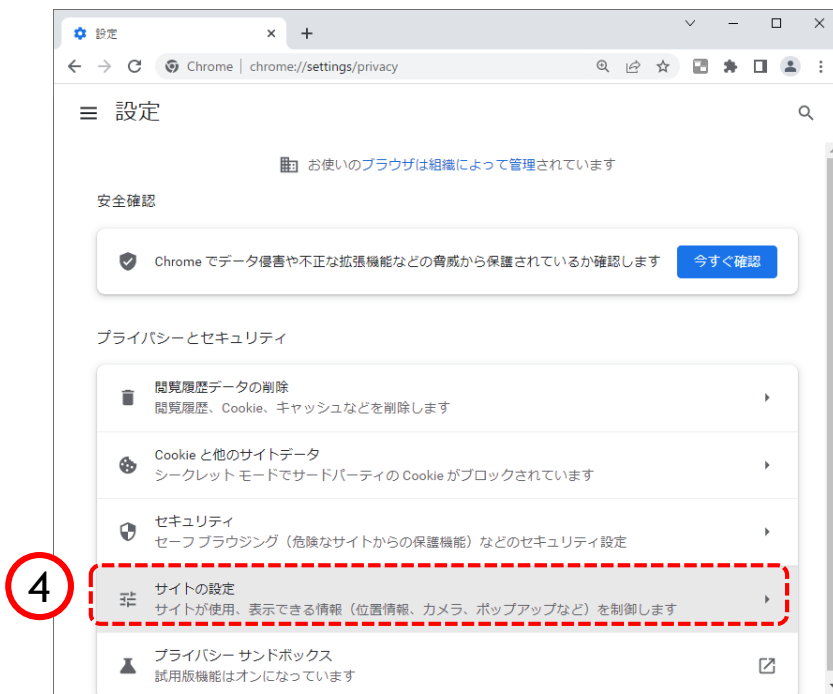
## 6b. ポップアップの許可設定



手順3

プライバシーとセキュリティ画面が表示されます。

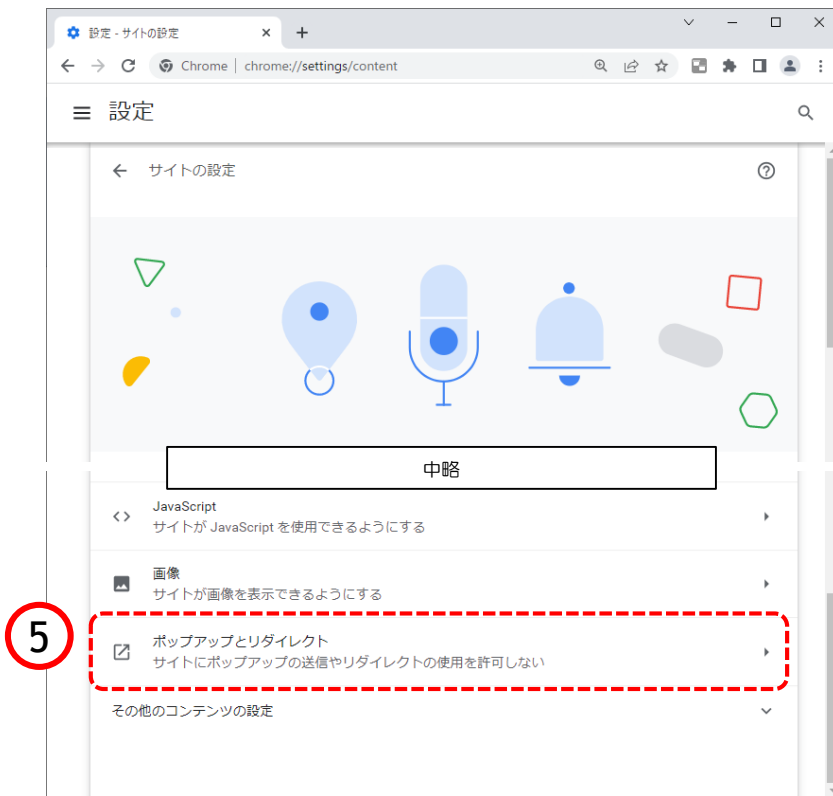
④「サイトの設定」をクリックします。



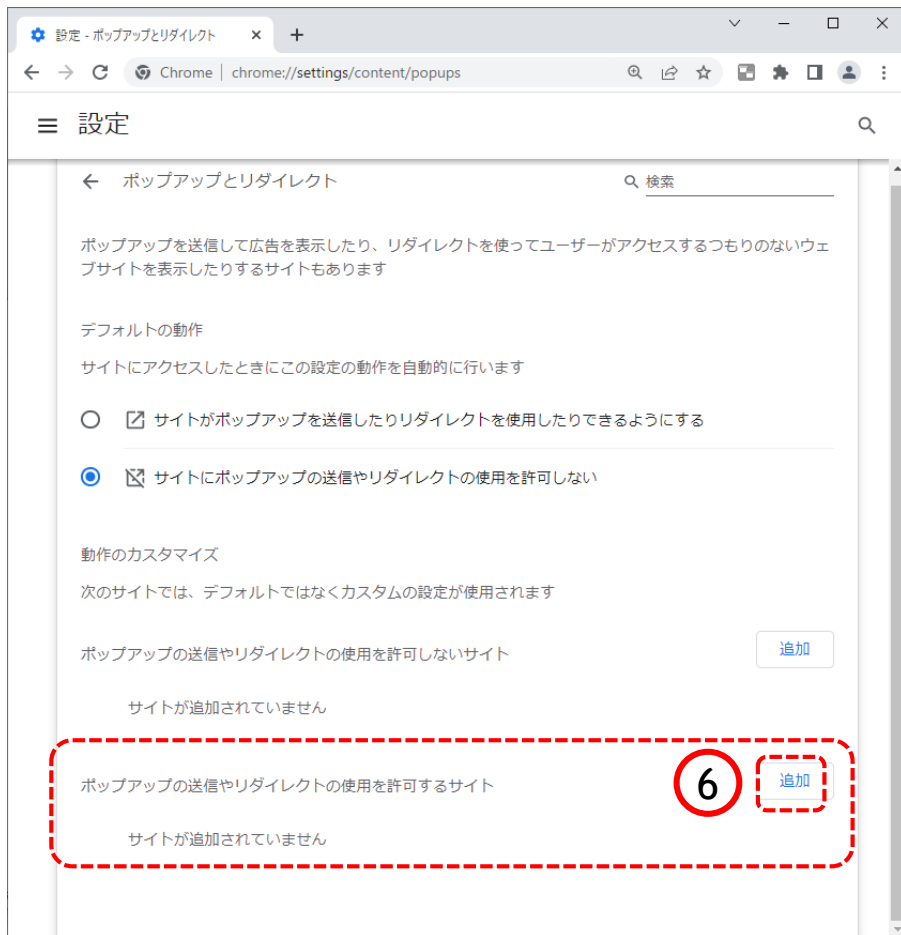
手順4

サイトの設定画面が表示されます。

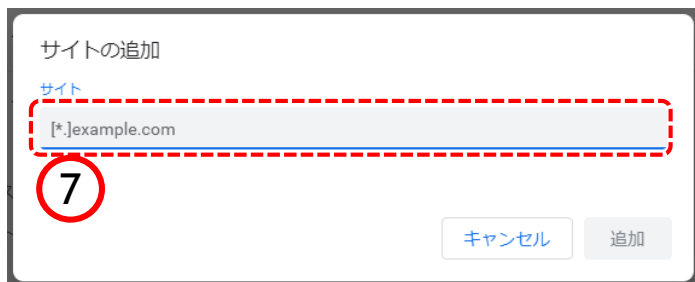
⑤『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。



## 6b. ポップアップの許可設定



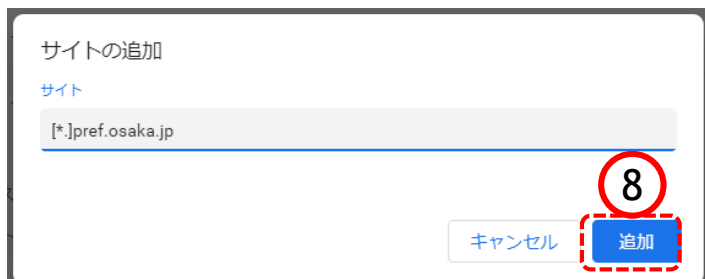
⑥ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイトの「追加」ボタンをクリックします。



サイトの追加画面が表示されます。

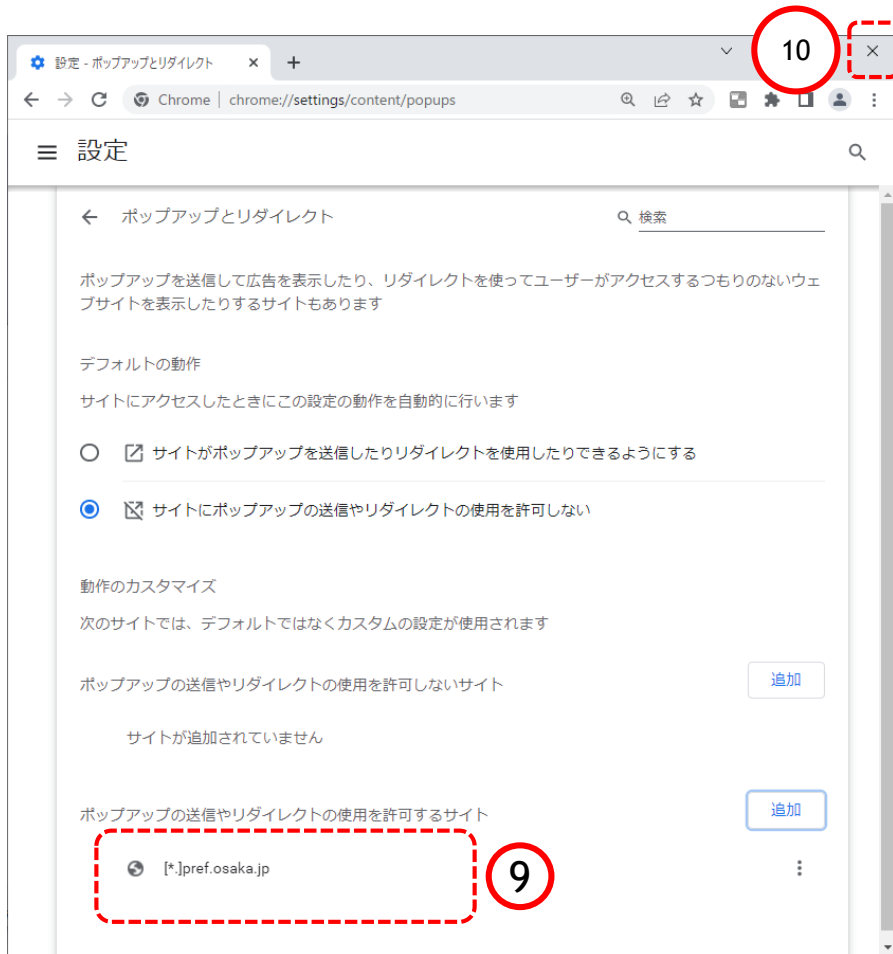
⑦『サイト』欄のテキスト入力箇所にアドレスを入力します。

入力するアドレスは、  
[\*].pref.osaka.jp  
です。



⑧「追加」ボタンをクリックします。

## 6b. ポップアップの許可設定



### 手順7

ポップアップとリダイレクト画面に戻ります。

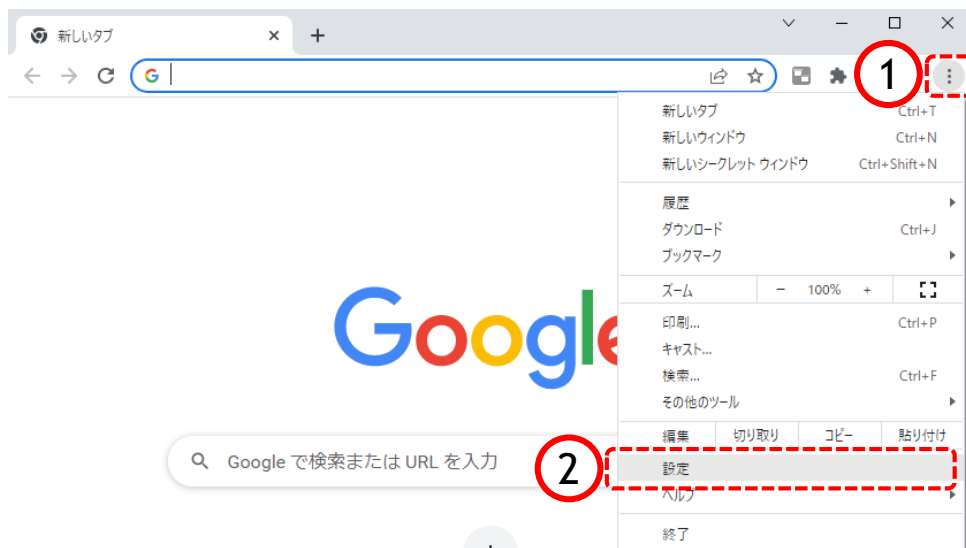
⑨ 『許可』欄に入力したアドレスが表示されていることを確認します。

⑩ 右上「×」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上でポップアップの許可設定は終了です。


## 7b. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法

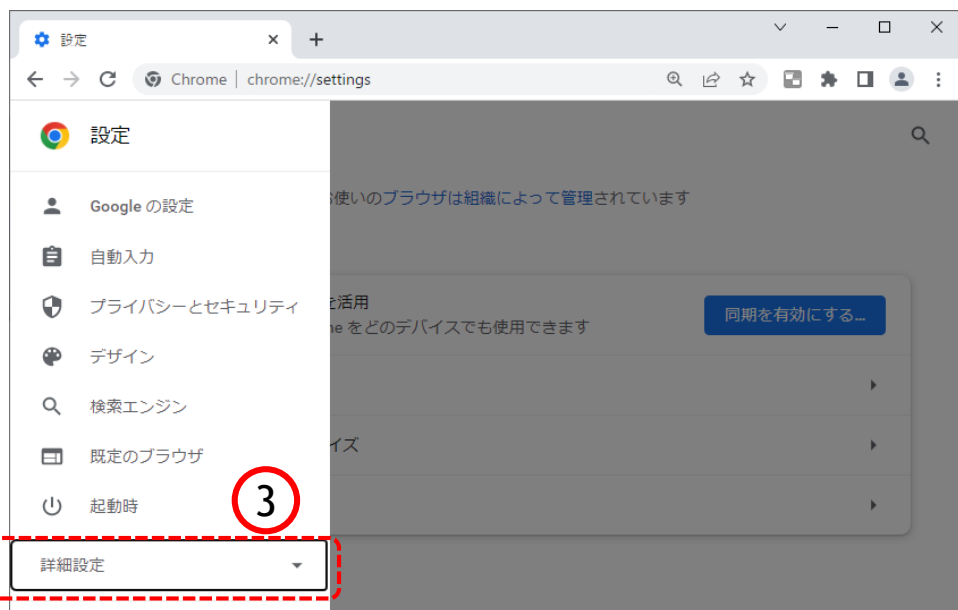
以下の設定をすることによって、Chromeでファイルをダウンロードしようとした際に、ファイルを「開く」か「名前を付けて保存」するか選択できるようになります。



### 手順1

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

- ①  ボタンをクリックします。
- ② 「設定」をクリックします。

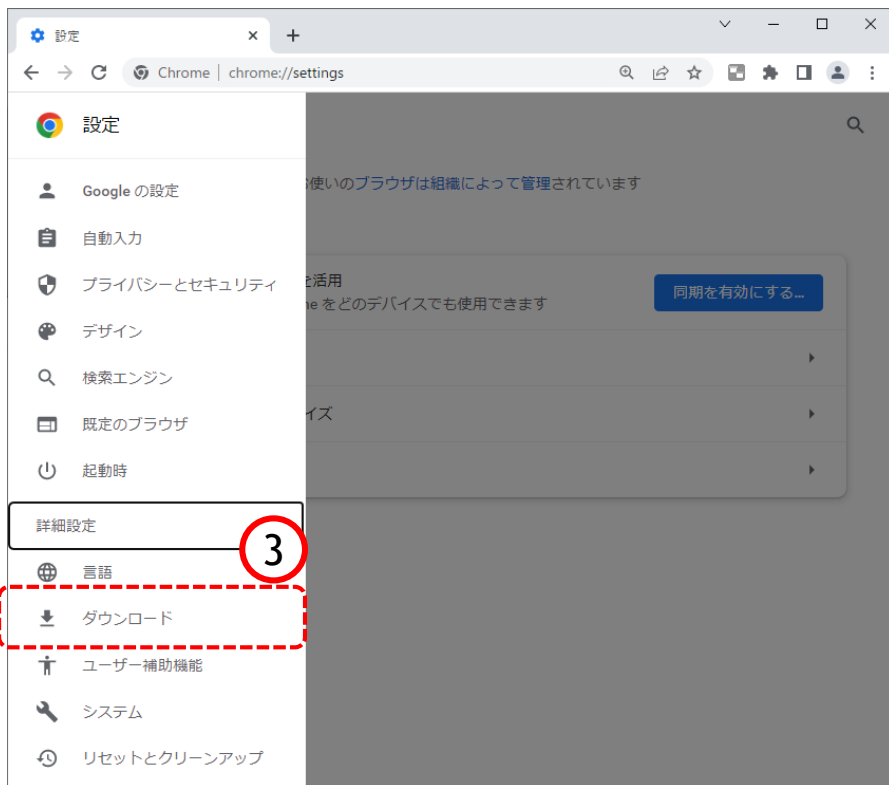


### 手順2

設定画面が表示されます。

- ③ 設定画面の左側に表示されているメニューから「詳細設定」をクリックします。

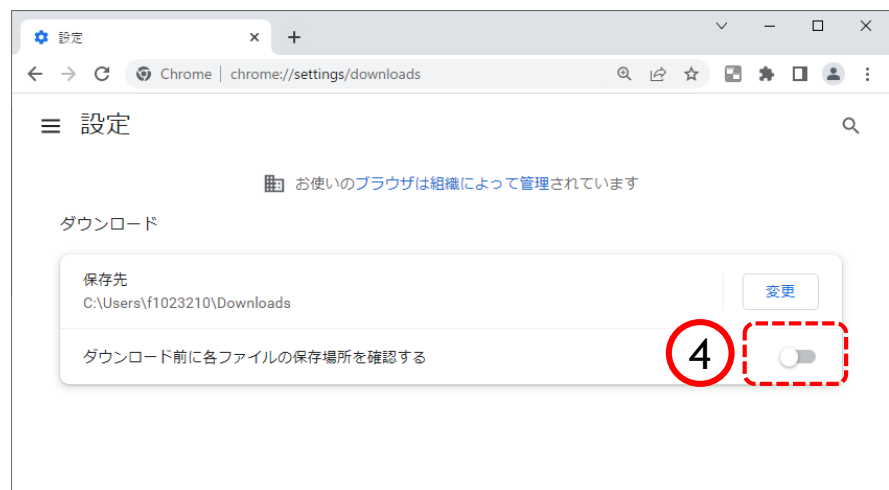
## 7b. 「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法



### 手順3

以下の手順で、Google Chrome画面から設定画面開きます。

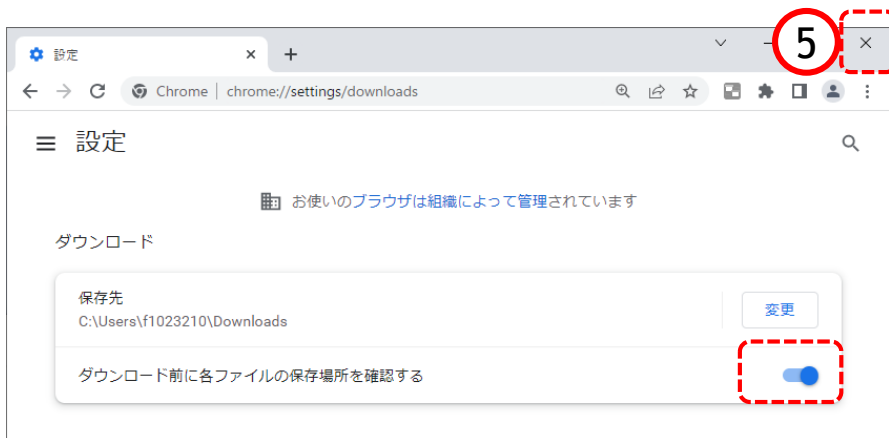
③「ダウンロード」をクリックします。



### 手順4

設定画面が表示されます。

④画面右側に表示されるダウンロード設定画面の中にある「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効  にします。



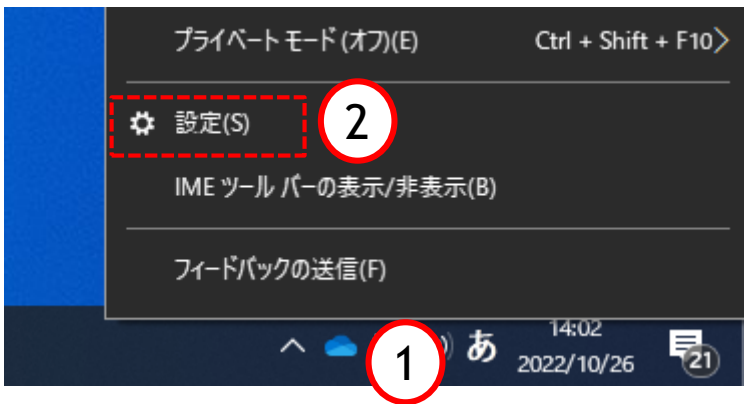
⑤ 右上「X」ボタンをクリックし、Chromeの設定画面を閉じます。

以上で、「ダウンロード時の動作を毎回確認する」を有効にする方法は終了です。

## 8. 注意事項 【JIS2004の使用制限について】

Windows 10、11 では、JIS X 0213:2004（JIS 2004）対応フォントのみが搭載されており、Windows 7 まで利用可能であった JIS 90 フォントパッケージは搭載されていません。  
システムをご利用いただく場合には、以下の設定を行っていただきますようお願い致します。

<Windows10/11の場合>



① 通知領域の「あ」（または「A」）を右クリック

②メニューの「設定」をクリック



③ Microsoft IMEの【全般】をクリック



④ スクロールします。

⑤ 「変換候補の一覧に含める文字セットを選択する」の項目の「JIS X 0208のみ」にチェックを入れてください。

⑥ 「X」で閉じます。

以上の操作で、Windows 10、11における JIS 2004 対応の設定は完了です。



## 9.大阪府電子調達（電子入札）システム・お問い合わせ先

### (1) 電子入札の手続き書類や案件内容に関すること

総務部契約局			
建設 工事 課	建設工事の入札に関すること	建築入札グループ	06-6944-6436
		土木入札グループ	06-6944-6253
物品課 総務委託	建設工事の資格登録に関すること	資格審査グループ	06-6944-6429
	物品・委託役務業務資格登録に関すること		
	物品・委託役務業務入札に関すること	委託役務グループ	06-6944-6270
		物品調達グループ	06-6944-6192

### (2) ICカードやパソコンの環境設定に関すること

ICカードを購入した認証局にお問い合わせ下さい。（ご不明の場合は以下を参照下さい）

※電子入札システム認証局一覧（電子入札コアシステム開発コンソーシアム HP）

<https://www.cals.iacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>

### (3) 電子入札システム、電子申請システムの操作に関すること

#### 大阪府電子調達システムヘルプデスク

電話番号	06-4400-5180
電話受付時間	平日 9:00~17:30
内容	電子入札システム、電子申請システムの操作方法、不具合等の受付及び問合せに対する回答

#### ★問合せ時のお願い★

・ご案内の前に、必ず**担当者様名、お電話番号**をお伺いしております。ご案内の情報に補足があった場合や、重要なお知らせがあった場合にすぐにご連絡ができるように努めておりますので、ご協力をお願いいたします。

また、パソコンの不具合などの場合は パソコンのメーカー、OSの種類、インターネットブラウザの種類などもお伺いいたしますので、事前にお調べいただくとスムーズにご案内ができます。

・電子入札に**関わりのない**、パソコンやネットワーク、その他ソフトウェアの不具合に対してはご案内できかねますのでご了承ください。

・ご案内する内容によっては他の部署や機関へお電話をおかけ直しいただく場合がございます。予めご了承ください。